

# かわ

2024.4.1  
vol.261 Contents

わがまちのかわ◎第57回田川市 …… P1～P2  
ふくおか川の大掃除活動報告 …… P3～P4  
ふくおか水もり自慢/報告 …… P5～P6  
第2回災害復旧実務講習会報告 …… P7  
川づくり表彰 …… P8  
大規模氾濫減災協議会 …… P9  
ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!  
No.16 最終回:汽水域における生物調査の課題と研究紹介  
…………… P10  
河川協会からのお知らせ



郷土ふるさと 福岡の河川を知る

# わがまちのかわ

## 第57回 田川市



福岡県 田川市



風治八幡宮川渡り神幸祭(5月・彦山川)

### 田川市の概要

「月が出た出た、月が出た♪」日本を代表する民謡「炭坑節」発祥の地である田川市は、福岡県の北東部に位置する筑豊地域の中核都市。市の南には英彦山、北に福智連山、東には香春岳を望む三方を山で囲まれた田川盆地の中心都市で、東西9km、南北14kmにわたり、総面積は54.55km<sup>2</sup>です。福智山系から連なる夏吉地区のロマンスが丘や大法山など、山間部には豊かな自然が残されています。福岡市と苅田町を結ぶ国道201号、北九州市と久留米市を結ぶ国道322号が通っており、都市部とのアクセスは良好。公共交通も比較的維持されています。食べ物がおいしく、日用品のほとんどは市内で購入できるほか、医療機関も充実しているなど、居住環境や自然環境などが生活に「ちょうどいい」まちとして定評があります。

古くは米どころとして知られる農村でしたが、明治期以降は石炭産業が隆盛を極め、日本有数の「炭都」として知られるようになりました。その後、エネルギー革命の影響により、昭和40年代中頃までに炭坑は全て閉山。炭都田川は日本の近代化という大きな役割を終えました。令和5年11月3日で市制施行80周年を迎えた現在、山本作兵衛氏の炭坑記録画などが「山本作兵衛コレクション」としてユネスコ「世界の記憶」に登録されたほか、様々な炭坑遺産が残る「三井田川鉱業所伊田坑跡」が国の史跡指定を受けるなど、これまでの歩みが後世に継承すべき歴史として再評価され、新たな魅力が花開いています。

本市の魅力といえば、初夏を彩る神幸祭。5月には「風治八

幡宮川渡り神幸祭」と「春日神社神幸祭」が相次いで開催されます。470年以上の歴史を持つ風治八幡宮川渡り神幸祭は、福岡県指定無形民俗文化財に登録されており、福岡県5大祭りのひとつ。その名のとおり、水しぶきをあげながら彦山川を渡る2基の神輿と11台の山笠が見所のひとつで、その勇壮な姿を一目見ようと、市内外からたくさんの観客が訪れます。

本市の中央部には、彦山川と中元寺川が流れており、昔は船を使った農作物や木材、石炭などの運搬が行われていました。現在は、河川敷の整備や環境保全、水辺の空間づくりなど、かまちづくりを官民が協力して実施。穏やかな流れや豊かな自然環境を活かした環境学習や自然観察、鮭の稚魚の放流、カヌー体験など様々な催しで川が親しまれています。



カヌーを楽しむドイツスポーツ少年団(中元寺川)



## 風治八幡宮川渡り神幸祭



470年以上の歴史がある疫病退散が起源の祭り。彦山川を神輿と山笠が渡る「川渡り神事」や、山笠を前後に激しく傾ける「がぶり」は迫力満点!

## コールマイン・フェスティバル



炭坑節発祥の地として、歴史や文化、魅力を発信する祭り。音楽・ダンスなどのステージイベント、キャンドルナイト(写真)、炭坑節総踊りなど盛りだくさん。

## 丸山公園



春にはソメイヨシノが咲き乱れ、多くの花見客が訪れる。イベントステージには巨大な桜の壁画が描かれており、撮影スポットとしても注目されている。

## 春日神社岩戸神楽



国指定重要無形民俗文化財の豊前神楽のひとつで、春日神社神幸祭などで奉納される。鬼神に抱きかかえられた子どもは健やかに育つといわれている。

## 石炭記念公園



一帯が国指定史跡となっており、石炭・歴史博物館のほか、炭鉱遺産の二本煙突や堅坑櫓がある。遊具も充実しており、憩いの場として親しまれている。

## 市民プール



仕掛け満載の「からくり水とりで」や流水プール、ウォーターライダーなど、アトラクションが充実しており、一日中遊べる田川市の夏の人気スポット。

# 「ふくおか川の大掃除」を開催しました!

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止していましたが「ふくおか川の大掃除」を、昨年度に続き、今年度も開催することができました。当日は、地域・近隣学校の皆さま、下大利団地御笠川を守る会の皆さまが集合し、福岡県職員と共に、河川愛護への熱い思い(草刈り・清掃)を分かち合いました。

「ふくおか川の大掃除」は、

- ・ 河川愛護の活動・思想を広く知ってもらう。
- ・ 河川についての理解と関心を深めてもらい、河川愛護活動を体験してもらう。
- ・ 良好な河川環境の保全・再生を推進するために、地域の皆様・市民の皆様・行政などが一体となっていく。

この3つのキーワードを目的に、毎年10月をクリーンリバー推進期間としており、第4日曜日を統一活動日として、今年で19回目の開催です。

近くで生活しているけれども、なかなか交流のない世代が一堂に集い、一緒に雑草を集めるなど、大いに盛り上がりました。

当日の様子は下記のとおりです。

**日時** 令和5年10月22日(日曜日)10時から11時00分まで **内容** 清掃

**集合場所** 下大利団地1棟集会所前(大野城市下大利団地)

**対象河川** 二級河川御笠川水系御笠川

**参加者** 252人 ・地域住民・近隣学校 ・福岡県(河川管理課、那珂県土整備事務所の職員)

## 🕒10時 開会行事スタート!

福岡県立春日高等学校・福岡県立筑紫中央高等学校・純真高等学校からも参加いただきました。



## 🕒10時10分 いよいよ清掃開始!

それぞれの活動場所に移動いよいよ清掃開始です。

河川愛護団体の方に教わりながらみんなで和気あいあいと河川をキレイにしています。





◎10時20分 よみがエルくん登場!

河川愛護事業イメージキャラクターである「よみがエルくん」も応援に駆け付けました。



みんなにエールを送りつつ一緒に清掃を頑張りました。



◎10時50分 清掃活動ラストスパート!

たくさんの草やごみをまとめて各収集場所へ運びます。



◎11時 活動終了!

時間があっという間に過ぎました。毎年地区を変えて開催しています。来年度は読者の皆さまも参加してみませんか?



新設川(おさか川)の生きがいとしたいです。

**第1号區ふくおさか川の大掃除の参加者を募集します**

期 日	令和5年10月22日(日) 9時から 10時30分
集 合 場 所	下大田緑地(橋本公園南) 1号区事務所
内 容	草取り、清掃
対 象	新設川(おさか川)の生きがいとしたいです。河川愛護事業として参加者と一緒に活動してください。
備 考	1. 人数不足で、募集終了となりますが、募集から参加されている方がおられる場合は、募集終了後も、お申し込みください。 2. 参加費は、ありません。 3. 雨天中止です。お申し込みの際は、お天気にご注意ください。 4. 参加費は、お申し込みの際に、お申し込み書に記入してください。 5. 参加費は、お申し込みの際に、お申し込み書に記入してください。

# ふくおか水もり自慢!

## 第20回 ふくおか水もり自慢!in遠賀川を開催しました!

令和5年12月3日(日)に嘉麻市の「嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ 文化ホール」において、「第20回 ふくおか水もり自慢!in遠賀川」を開催しました。

「ふくおか水もり自慢!」は、福岡県内で「水」・「もり(森)」(山林、川、ため池、水田、水路、海、干潟など)に関わる活動をしている団体(学校、市民団体、NPO、企業、国、地方自治体)が一堂に会し交流することで、団体間の交流や行政と市民団体のパートナーシップの促進を目指し、福岡県がNPO法人等と協働で毎年開催しています。

団体間の交流を図ることで、他団体の活動状況や手法を学ぶことで、今後の活動の糧とし、お互いを称えあうことで、さらなる活動の発展へと繋げていきます。

令和6年度は福岡ブロックで開催する予定です。詳細については、福岡県県土整備部河川整備課ホームページ等でお知らせします。多くの方々のご参加をお待ちしております!



被災地からの報告



状況報告



シンポジウム

### 第20回ふくおか水もり自慢!in遠賀川 当日のプログラム

- 10:00 【開会式】
- 10:25 【令和5年7月豪雨における復旧支援活動と聞こえた声】  
川嶋 睦 (災害支援ふくおか広域ネットワーク幹事)
- 10:35 【報告】「水源地を守るには!」  
松岡 朝生(NPO法人遠賀川流域住民の会)
- 10:50 【記念シンポジウム】～私たちの貴重な水資源を守るために何ができるか～
- 13:00 【河川絵画コンクール表彰式】
- 13:20 【報告】「第19回ふくおか水もり自慢!」  
～シンポジウムにおける経過報告～
- 13:30 【活動報告】25団体
- 16:50 【閉会式】





## 【活動報告】

各団体は持ち時間3分の中でそれぞれの活動の思いを披露します。劇やスライドなど様々な手法を用いて各団体の活動を報告し交流を深めました。

## 【発表団体(敬称略、順不同)】(25団体)

- 土居自然学校
- ふくおかの川と水の会
- ASCJ系島のを守る会
- 上西郷川日本一の郷川をめざす会
- SOW-Dive! (ソウダイブ)
- NPO法人筑後川流域連携倶楽部
- グッドニュース
- 遠賀川水辺館カヌースクール
- めだかの学校
- 遠賀川流域子ども水フォーラム
- 笹尾川水辺の楽校運営協議会
- 特定非営利活動法人アザメの会
- 嘉麻市立山田中学校 ほたる部
- ふるさと探検隊
- 九州大学流域システム工学研究室
- 久留米工業大学 学生団体PICTURE
- 一般財団法人福岡県浄化槽協会
- 一般社団法人 ふくおかFUND
- 古賀市 環境課
- 古賀河川図書館
- 龍王・山・里・川の会
- 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会作業部会
- 遠賀川親めだかの会
- 福岡県県土整備部 河川整備課
- NPO法人遠賀川流域住民の会

## 【団体の紹介】

### NPO法人 遠賀川流域住民の会

(大会事務局)

遠賀川はかつて、炭鉱の洗炭水によって黒く濁り“ぜんざい川”と呼ばれ、濁質が非常に高く、底泥も堆積していました。近年は、石炭産業の衰退により濁質は低くなったものの、都市化が進み、生活排水等で水質の悪化が問題視されています。本団体は、そのような遠賀川を個々の団体ではなく、皆が連携して取り組み水質、水環境をよくしていこうと平成14年NPO法人として発足し、主に遠賀川流域で活動している27団体、1個人で構成されています。

### 全体活動 森～川～海を通じた環境保全・人との交流をめざす

- ★ 芦屋・若松海岸クリーンキャンペーン
- ★ 源流の竹林整備：メンマづくり
- ★ 小学生の環境学習
- ★ ごみ分別調査(全国ごみネットに参加)
- ★ 会員の情報交換会
- ★ 情報収集・公開  
(遠賀川流域だより・知っとく情報遠賀川)
- ★ 遠賀川流域連携会議  
・九州河川協力団体連携会議への参加

遠賀川流域住民の会HP



令和5年度

# 福岡県災害復旧実務講習会<sup>(第2回)</sup>の報告

日時 令和5年12月22日(金) 10:00~16:50 場所 吉塚合同庁舎 会議室 Y603A、Y603B

令和5年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県土整備事務所及び市内町村から80名の方にご参加いただきました。

本講習会では令和5年の災害査定を振り返り、今後に備えて災害復旧の留意事項等について説明を行いました。

また、国土交通省九州地方整備局の松本技術検査官にお越しいただき、災害査定申請時の留意点や近年の災害復旧事業関連の動向についてご講演いただき、大変有意義なものとなりました。

さらに、同じく国土交通省九州地方整備局の中島河川保全専門官から河川メンテナンスについてご講義い

ただきました。災害復旧事業は、日常の維持管理が適切に行われていることが大前提となります。昨今、社会資本ストックの急速な老朽化が懸念されており、施設管理者の責務である維持管理の重要度は今後ますます高まっていくと考えられます。講義の中では、巡視や点検時における現地での注意点や問題点等についてもお話しいただき、非常に有意義な講義となりました。

受講者からは、「大変勉強になった」、「ためになった」との感想をいただいております。

今回の講習会も参加者がスキルアップできるように企画しておりますので、今後も多くの方のご参加をお待ちしております。

## 令和5年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)プログラム

- 1 開会挨拶
- 2 令和5年災害査定総括
- 3 災害復旧事業費の国庫負担金交付申請手続きと精算・成功認定等について
- 4 災害復旧事業の繰越手続きについて
- 5 災害復旧事業に関する留意事項
- 6 災害復旧事業の設計変更と合併・合冊について
- 7 道路災害復旧の留意点について
- 8 河川災害復旧の留意点について
- 9 砂防災害復旧の留意点について
- 10 都市災害復旧事業等について
- 11 下水道災害復旧事業等について
- 12 災害復旧の留意事項
- 13 河川メンテナンス

## アンケートに寄せられた声

- 事業の流れや、各種申請、留意点等、様々な内容を学ぶことができた。
- 初めて聞くような内容が多く、難易度が高く感じたが、参考になるような点も多々あった。



講習会の様子



国土交通省 九州地方整備局  
企画部 技術検査官 松本様



国土交通省 九州地方整備局  
河川部 河川保全専門官 中島様



令和  
5年度

# 全国多自然川づくり会議で 優秀賞を受賞しました!

令和5年度全国多自然川づくり会議にて、福岡県南筑後県土整備事務所柳川支所の井上主任技師が「河川の維持管理等における工夫事例」の発表を行い、優秀賞を受賞しました。

## 【発表事例の概要】

豪雨災害が激甚化・頻発化している中で、干満の大きい有明海に面した河川特有の土砂（ガタ土）の堆積は、水災害リスクの拡大につながり流域住民に不安を招いているため、掘削等による河川の流下能力を確保する必要があります。発表事例は、地域との協働による土砂を持ち出さないしゅんせつ工事を実施し、流下能力確保、コスト削減に加え、生態系への影響の最小限化を図ったもの。

## 受賞者



## 発表の様子



## 【全国多自然川づくり会議】

多自然川づくりに対する知見の蓄積や意識の向上を目的とし、国土交通省が主催で平成15年頃から国・都道府県・市町村の河川担当者を対象として毎年開催されています。

今年度は、各地方整備局単位で実施されるブロック会議（地区予選）で推薦された優秀事例を発表・議論し、その中から選定される「代表事例」が表彰されます。

発表は、「河川改修等」「環境整備事業等」「河川災害復旧・災害関連事業等」、「河川の維持管理等」における工夫事例の4部門ごとに行い、各部門から選出される代表事例が表彰されます。



# 「大規模氾濫減災協議会」が開催されました!

## 1 大規模氾濫減災協議会について

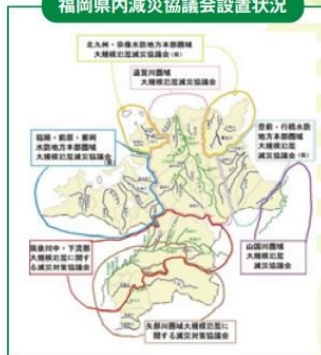
近年、各地で洪水等の水災害が頻発・激甚化しています。このため、福岡県においては、河川管理者、気象台、市町村などの関係機関が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するための「大規模氾濫減災協議会」が設置されています。

## 2 開催概要

県管理河川については、3つの圏域において協議会が設置されており、それぞれ第6回目の会議が開催されました。

会議では、現在、関係機関が減災のために取り組んでいる内容について進捗状況を確認したほか、九州地方整備局や県から関係機関へ、情報提供が行われました。

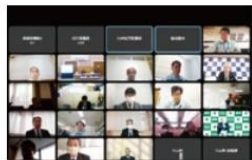
### 福岡県内減災協議会設置状況



### ①第6回 「福岡・前原・那珂水防地方本部圏域」 大規模氾濫減災協議会

**日時** 令和6年1月24日(水) 9:30~10:30

**場所** WEB会議形式にて開催



### ②第6回 「豊前・行橋水防地方本部圏域」 大規模氾濫減災協議会

**日時** 令和6年1月29日(月) 13:30~14:30

**場所** 福岡県豊前総合庁舎(大会議室)



### ③第6回 「北九州・宗像水防地方本部圏域」 大規模氾濫減災協議会

**日時** 令和6年1月31日(水) 13:30~14:30

**場所** 福岡県八幡総合庁舎(大会議室)



## 3 議事内容等

- ①令和4年度から8年度の5年間で、関係機関が減災のために取り組む内容をまとめた「概ね5年間で実施する取組み」について、時点更新が行われました。
- ②各市町村が、現在行っている減災のための取組について、関係機関へ説明がありました。
- ③九州地方整備局から「水防協力団体の募集」等について、県から「令和5年7月豪雨による被害状況」等について、情報提供がありました。

なお、議事概要や当日資料等については、福岡県庁のホームページに掲載予定です。



# ふくおかの身近な川と さかなを知ろう!

No.16

いぬい  
りゅうてい  
乾 隆帝

最終回：汽水域における生物調査の課題と研究紹介

乾です。2020年7月号(vol.246)から、約3年と9か月  
にわたり連載してきましたが、今号が最終回となりました。  
潮汐の話や、調査道具、調査方法、汽水域に生息する  
ハゼ類の生態や、分布についてこれまで書いてきました。  
最終回は、汽水域における生物調査の課題と、私が汽  
水域で進めている研究について紹介したいと思います。

連載の前半でも触れたことがあるとは思いますが、河  
川汽水域は、特有の生物が生息し、かつ生産力も非常  
に高い水域ですが、河口堰や導流堤、河道の掘削等の  
河川整備により負の影響を受け続けてきた環境です。今  
後はそれらの負の影響を可能な限り小さくするだけでな  
く、自然再生、さらには気候変動に対応した生態系の保  
全・管理が課題です。そのためには、河川汽水域のどこ  
に(どんな環境に)、どんな生物が生息しているのかを詳  
細に知る必要があるのですが、残念ながらその知見は十  
分とは言えません。河川汽水域の面積は流域面積の  
うちごくわずかですが、少し横断方向に移動して地盤高  
が変わったり、少し縦断方向に移動して河床材料の粒  
度が変わったりすることによって、そこに生息する生物  
相が大きく変化することが特徴です。ですので、河川汽  
水域において、どこに、どんな生物が生息するのかわ  
るためには、汽水域全体の生物分布を網羅的に捉える  
必要があります。水面面積に対して、純淡水域以上に調  
査努力量をかけないと、どこにどんな生物が生息してい  
るか、その河川にどんな生物が生息しているかも把握  
できない恐れがあるということです。しかしながら、大潮  
や良く引く中潮の干潮前後の数時間しか調査が出来ない  
汽水域において、汽水域全域の調査をすることは、余  
程の人員を投入しないと難しいと思います。また、各種  
の調査方法が確立・普及されていないこともあり、例え人  
員を投入しても、確実に十分な成果を得られる保証は  
ありません。

これらの課題を解決するために、私は現在、汽水性生  
物、特に干潟域に生息する多くの種に適応可能で、かつ  
短時間で、誰にでも調査可能な、再現性のある面的モ  
ニタリング手法の構築を目指した研究をしています。具  
体的には、(1)画像から直接「在・不在」を判別する方  
法、(2)画像から物理環境(地盤高、粒度)を定量化し、分  
布予測モデルにより判別する方法を開発中です。

(1)は、高解像度カメラを搭載可能なUAVを用いて低  
空で干潟表面を空撮した後、干潟に入って干潟表面を

デジタルカメラで撮影した後、コドラート内に生息してい  
る生物を採集します。そうすることによって、色々な種が実  
際に生息している干潟表面の画像が集まります。それら  
の画像を用いて、AIによる深層学習をおこなうことによ  
り、画像から各種生物が生息しているか否かを直接予測  
するような手法です。

(2)は、(1)と同様に、UAVを用いて中空で干潟表面  
を空撮した後、干潟に入って干潟表面をデジタルカメラ  
で撮影した後、コドラート内の底質を採集し、粒度分析  
をおこないます。そうすることによって、色々な底質粒度  
の干潟表面の画像が集まります。それらの画像を用いて、  
AIによる深層学習をおこなうことにより、画像から干潟の  
底質粒度を予測し、予測した粒度から、そこにどんな生  
物が生息しているかを予測するような手法です。

本音としては、野外調査に長けた調査者で、全ての河  
川の汽水域を網羅的に調査すればいいじゃないかと思  
うのですが、金銭的・時間的にやはり現実的ではありません。  
実際、自分が全ての大潮で調査に出しまうと、お  
そらく他の仕事が立ち行かなくなってしまってパンクして  
しまうでしょう。また近年、様々な事情により、野外調査能  
力に卓越している研究者が減少してきており、またそれら  
の技術を継承する機会も減少していると感じています。も  
ちろん我々より若い世代に技術を継承することを諦めた  
わけではありませんが、同時に我々の世代の研究者も、  
まだ自分の体が動くうちに、AIや分布予測モデルにも技  
術を継承していきたいという思いも、この研究には込め  
られています。これらの技術が完成することによって、念  
願だった汽水域全体の生物多様性の地図化が可能に  
なると思います。

次号から、書き手を交代したいと思います。ご愛読い  
ただきありがとうございます。

いぬい りゅうてい  
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

●福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授

●応用生体工学学会編集委員

●環境省レッドリスト検討委員

主な著書／

■レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそ

れのある野生生物—(2015)

■魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014) など

＼ 地域のかわをもっと元気に!! /

# 河川愛護活動に参加しましょう

## 河川愛護活動とは？

活動区間を決めて支援制度に登録していただき、福岡県から支援を受けながら、お住まいの地域の川の除草・清掃などの活動を行うものです。

※活動中の河川愛護団体・企業が実施している区間には重複登録が出来ませんのでご注意ください。

お問い合わせは、お近くの県土整備事務所へ！



<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kasenaigoo.html>

河川愛護の詳細・登録については **福岡県 河川愛護**

**検索**



## 【公益社団法人 全国防災協会 防災セミナー】

令和6年2月13日(火)に令和5年度防災セミナーが開催され、河川協会事務局が出席しました。防災対策等について学識経験者等専門家や関係省庁担当者等の方々の講義を受けました。



## 令和6年度災害復旧事業に係る研修及び講習会予定一覧

日程/会場	研修・講習会名	主催
令和6年5月9日(木) 吉塚合同庁舎	(第1回) 福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会
令和6年4月下旬以降 北九州・筑豊・福岡・筑後北部・筑後南部の 各庁舎を巡回し開催する予定	災害復旧事業ブロック講習会	福岡県県土整備部 河川管理課 道路維持課
令和6年5月20日(月)～21日(火) 砂防会館別館(シェーンパツハ・サボー)	令和6年度 災害復旧実務講習会	(公社) 全国防災協会
令和6年5月21日(火)～22日(水) 福岡県建設技術情報センター	災害復旧実務研修	(公財)福岡県建設 技術情報センター
令和6年12月下旬 【令和5年度実績：12月22日】	(第2回) 福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会

※ いずれの研修も、県内市町村及び県土整備事務所の災害復旧事業担当者を対象としています。

## 編集 後記

1月1日に能登半島地震が発生しました。平成17年の福岡県西方沖地震や平成28年の熊本地震の経験を思い出した方も多いでしょう。災害はいつでも、だれに起こるか分かりません。大雨の時期に向けて、防災用品等の事前の備えと正確な情報収集で命を守る行動を心がけましょう。

(植村・北川)

## ◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL:092-633-2826(直通)  
FAX:092-643-3669  
企 画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasencyokai/>

